

水島エコワークス 環境おかやま大賞受賞

【岡山】JFEスチール西日本製鉄所（倉敷地区）構内の工場で廃棄物の再資源化を手がける水島エコワークス（本社〓岡山県倉敷市、藤井和夫社長）は、県が環境保全に取り組む企業などを表彰する



佐藤副知事（左）と藤井社長

2018年度「環境おかやま大賞」（循環型社会形成推進部門）に選ばれた。22日に岡山コンベンションセンター（岡山市）で表彰式が開かれ、佐藤兼郎・岡山県副知事から藤井社長に表彰状と記念品が手渡された。

同社はJFEスチールや県、倉敷市などが

出資する特定目的会社。倉敷市・資源循環型廃棄物処理施設整備運営事業（倉敷市PF

I事業）を手がける。廃棄物をガス化、精製し、燃料ガスを回収するサーモセレクト式ガ

ス化改質炉で、倉敷市の一般廃棄物や水島コンビナート企業などの産業廃棄物、ASR（自動車破砕残さ）を100%再資源化する。

05年の事業開始後、県、市の一般廃棄物のリサイクル率は大きく向上。県のリサイクル率は15、16年度と2年連続で全国トップとなった。資源の地域還元、環境教育のための見学者受け入れなど、資源循環型社会の形成に貢献する取り組みも評価され、今回の受賞につながった。11月には倉敷市からも「倉敷市5R推進事業優良事業者」として表彰された。

藤井社長は「当社は循環型社会の形成への貢献を理念に掲げ、100%再資源化にこだわり事業を続けてきた。受賞は大きな励みになる。広く取り組みを知ってもらい、さらなる貢献をしていきたい」と受賞の喜びを語った。

同社は7月の西日本豪雨で発生した災害廃棄物の処理も行う。7月から10月にかけて約5000トを処理、19年1月から20年3月までに約2万5000トの受け入れを予定する。